

災害時母子支援フォーラム 開催要領

- 1 目的 災害時は避難所等での生活に伴い心身の健康への影響が生じ、要配慮者である妊産婦及び乳幼児に対しては、関係機関が連携して健康管理に配慮した支援などを行うことが重要である。母子（妊産婦や乳幼児）は、心身の特性上、災害情報の把握や避難行動、避難生活に支援を要するため、要配慮者として捉えて防災対策を進めることが大切だが未だ課題も多い。
そこで災害支援に係る関係者が集まり、より災害支援の連携をイメージし、県内における災害支援やどのような連携が有効か等を考え共有し持続可能なネットワーク構築を目指す。
- 2 日時 令和4年6月3日（金） 13：30～16：00
- 3 場所 県民福祉プラザ 県民ホール （青森市中央3丁目20-30）
- 4 主催 公益社団法人青森県看護協会
- 5 共催 青森県
- 6 内容 講演及び情報提供、意見交換
テーマ：「未来につながる連携と母子支援を考える in あおもり
～もし、災害が起こったら、あなたは何をしますか？～」
※ 別紙プログラム参照
- 7 対象者 県内看護職（病院・市町村・大学・保育所等に勤務する看護職）、一般県民、
県及び市町村の防災関係者、病院に勤務する職員、社会福祉協議会に勤務する
職員、等 ※ 会員・非会員問わず
- 8 募集人数 120名
- 9 参加費 無料
- 10 責任担当者 公益社団法人青森県看護協会 助産師職能委員長 橋爪 直美
- 11 問合せ先 公益社団法人青森県看護協会 常務理事 前田 隆子
（青森市中央3丁目20-30 TEL：017-723-2857 FAX：017-735-3836）

災害時母子支援フォーラム プログラム

テーマ 「未来につながる連携と母子支援を考える in あおもり

～もし、災害が起こったら、あなたは何をしますか？～

時 間	内 容
13:00～	受付開始
13:30	開 会
13:30～13:35	あいさつ 青森県こどもみらい課長 大山 和也
13:35～14:35 (60分)	講演 <u>講師はオンラインで講演</u> 「 災害での母子支援 」 講師： 熊本市民病院 看護部長 桑原 美保 氏
14:35～14:45	休 憩
14:45～15:30 (45分)	情報提供(パネリスト 3 名より発表各 15 分) ① 助産師の立場から 中山こどもクリニック 助産師 小笠原 ひとみ 氏 ② 保健師の立場から 三戸地方保健所 健康増進課長 北田純代 氏 ③ 防災士の立場から 青森県防災士会 三浦 一郎 氏
15:30～16:00 (30分)	意見交換及び質疑応答 座長： 助産師職能委員長 橋爪 直美 パネリスト 3 名
16:00	あいさつ 青森県看護協会 会長 柗谷京子